

空軍参謀長と最先任上級曹長 来訪、即応態勢と再最適化について対話 CSAF, CMSAF communicate readiness, reoptimization during visit at Yokota

October 23, 2024

By Senior Airman Samantha White
374th Airlift Wing Public Affairs

米空軍参謀長デイビッド・オールビン大将と妻ジナ夫人、そしてデイビッド・フロシ米空軍最先任上級曹長が10月16日、横田基地を訪れた。

「チーム横田は、自衛隊と一丸となって日本の防衛と、自由で開かれたインド太平洋の維持を担っている。横田基地は、重要な空輸拠点として機能し、脅威を抑止する即応性のある強靱な戦力を提供している」とオールビン大将は語った。

オールビン大将とフロシ最先任上級曹長は、横田基地を訪問中に第374空輸航空団のリーダーシップと面会し、全体集会を開き、優秀な空兵を表彰し、基地内の施設を視察した。

今回の訪問は、太平洋空軍の管轄地域を一週間かけて訪問するツアーの一環で、これまでにハワイ州のパールハーバー・ヒッカム統合基地やグアムのアンダーセン空軍基地、また東京で開催された空軍フォーラム(AFFJ: 空軍参謀長招へい行事) に出席した。

基地の任務説明と第374空輸航空団司令官リチャード・マックエルハニー大佐と最先任上級曹長ケネス・ハウク最上級曹長との面談の後、空軍参謀長と空軍最先任上級曹長は横田カミサリー、戦時物資保管施設、腐食防止格納庫、航空管制塔、航空団の作戦センターなどを視察した。

各視察部署で、リーダーたちは空兵と直接対話し、直面している課題やそれらをどう克服して任務を遂行しているか、またパートナーシップの重要性について意見を交換した。

マックエルハニー大佐は「横田基地を上級幹部に紹介できることを誇りに思う。横田基地は住みよく働きやすい場所であるだけでなく、空軍、統合軍、パートナー国や同盟国に独自の投射能力を提供する重要な基地でもある。この訪問は、インド太平洋地域における主要な物流拠点としての必要性をアピールする絶好の機会となった」と話す。

オールビン大将とフロシ最先任上級曹長は、チーム横田を対象に全体集会を開き、最新の情報を共有し、空兵からの質問に答えた。

フロシ最先任上級曹長は、「軍人として従事することは名誉であり、一度しか経験できないものだ」「これからも国、空軍、そして諸君に貢献し続けることが、私の原動力だ」と述べた。

最後に、オールビン大将とフロシ最先任上級曹長はUH-1Nヒューイに乗り、第459空輸中隊と第374医療群の24時間体制で行われる模擬医療搬送に参加し、患者を都内の高度医療施設に搬送する訓練を視察した。

その間、ジナ・オールビン夫人は、基地内の支援施設を訪問し、食堂、保育施設、住宅、青少年のためのティーンセンター、フィットネスセンター、医療施設、学校、そして軍人・家族支援センターを見学し、横田基地のコミュニティの生活の質の向上を目指す取り組みについて説明を受けた。

横田基地は、西太平洋地域における主要なロジスティクスの拠点であり、人員や物資、装備品を地域内外に空輸する責任を負っている。基地とその58のパートナー部隊は、一体となって規律と即応性を持ちロジスティクスを同期化している。

「ここで働く空兵とリーダーシップは、積極的な姿勢で取り組んでおり、国に誇りをもたらしている」「横田基地は素晴らしい戦力を携え、同盟国と共にインド太平洋地域で達成しようとする全てにおいて不可欠な存在だ」とオールビン大将は述べた。

